

学習指導要領		都立八丈高校 学カスタンダード
(1) 私たちの生きる社会	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の資源・エネルギー問題の内容や性格，取り組みなどについて理解するとともに，エネルギー問題の解決について多面的・多角的に考察する。 ・持続可能なエネルギー利用を題材に，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正について理解する。 ・科学技術の発達がどのような倫理的課題をもたらしているか，脳死と臓器移植や医療資源の配分等について考察する。
(2) 現代社会と人間としての在り方生き方	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特質の理解を踏まえ，青年期の特質やアイデンティティの確立に関わる課題について考察する。 ・欲求と適応行動，防衛機制などを理解し，パーソナリティ形成の意味について考察する。 ・将来の進路と生きがいについてキャリア開発の視点から考察するとともに，男女雇用機会均等法等の整備がキャリア開発とも関連していることを理解する。 ・源流思想や宗教の考え方について理解することを通して，人間としての在り方や生き方に関わるものの考え方を理解する。 ・近代以降の科学思想や人間尊重の思想，近代の諸課題の解決に向けた思想を学ぶことを通して，現代社会の諸課題を倫理的に考えるための視座を得る。 ・外来思想の受容の中で形成された日本の思想の特色について，基本的な事項を理解する。

学習指導要領	都立八丈高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <p>個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の原理について、その成立の背景や歴史的経過、法の支配や人権の歴史的展開について、相互に関連させながら理解する。 ・世界の政治体制について、イギリスの議院内閣制やアメリカの大統領制を取り上げ、特に立法府と行政府との関連や裁判所の権限などについて理解する。また、社会主義体制の政治機構の特色についても理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原理とそれらの意義について、大日本帝国憲法との比較や日本国憲法成立に至る経緯を踏まえながら、理解する。 ・基本的人権の保障について、法の下での平等や自由権的基本権、社会権的基本権の意味を具体的事例を想起しながら理解する。また、社会の変化に伴う新しい人権の要請と概要について理解する。 ・平和主義と安全保障について、自衛隊や日米安全保障条約、これからの安全保障について考察する。 ・日本の政治機構について、国会、内閣、裁判所の役割と権限、仕組みについて理解し、それぞれの課題と

学習指導要領	都立八丈高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>改革の動きについて考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治について、地方自治の本旨の意味を踏まえ、地方公共団体の組織と権限、地方自治と国政の関連、住民の参加による政治の意義について理解する。 ・政治の仕組みと働きについて、報道等で得る情報にも関心を持たせ、関連させながら理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の成立とその後の展開、経済における政府の働きの変化などについて理解する。 ・生産の主体である企業の形態や活動、株式会社の特色、グローバル化の中の企業などについて理解する。 ・市場における価格の働き、寡占化や市場の失敗といった市場機構の限界について理解する。 ・一国の経済活動の規模を示し、経済の動きの指標としての GDP、国富について理解するとともに、景気変動と物価について、身近な視点も含めて理解する。 ・金融の仕組みと働き、金融市場、信用創造などについて理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の内容を理解し、金融に関わる動きについて身近な生活の視点から考察する。 ・政府の財政活動の役割、財政政策、租税の仕組みについて理解するとともに、財政に関わる問題について考察する。

学習指導要領	都立八丈高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主権国家と国際社会の成立，外交の意義，国際法の種類と効力について理解する。 ・ 国際紛争を避ける仕組みとしての勢力均衡政策，集団安全保障の仕組みについて理解するとともに，国際連盟，及び国際連合の仕組みと役割について理解する。 ・ 国際連合の安全保障の機能と，地域的な安全保障体制について理解し，それらの関係について考察する。 ・ 国際連合の経済的・社会的役割や，人権の国際的保障に向けた取り組みについて理解すると同時に，国際連合の課題について考察する。 ・ 第二次世界大戦後の東西冷戦の時代，その後の多極化の時期，冷戦終結とその後の世界の動きについて理解する。 ・ 冷戦期の軍拡競争と核実験の停止や核拡散防止等の動き， NGO などの活動を理解する。

学習指導要領		都立八丈高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人と社会の関わりの視点から、労働と雇用、混雑・渋滞のテーマを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。 ・社会と社会の関わりの視点から、地域社会の課題や貿易交渉を取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。 ・現役世代と未来世代との関わりの視点から、少子高齢社会における世代間の関わり、及び今後のエネルギー利用についての課題を取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。

